

壬生野歴史文化継承事業 地域探訪ウォーキング《川西編》

壬生野地域まちづくり協議会では、“地域探訪ウォーキング”第4弾として、令和5年12月9日(土)に地域探訪ウォーキング(川西編)を実施しました。

このイベントは、壬生野歴史文化継承事業の一環として行うもので地域の歴史文化や風習等を掘り起こし壬生野地域に潜在する魅力を再確認するものです。

【実施概要】

日時：令和5年12月9日(土) 13:00~15:40

行程：川西コミュニティ広場(川西区公民館駐車場)(集合・出発)

↓
福泉寺(解説・見学)

農業構造改善事業竣工碑(説明・見学)

たけべさん(説明・見学)

↓
松尾講の杜(説明・自由見学)

↓
滝川浄水場・三ツ池・庚申講(説明・見学)

↓
川西青葉台(三等三角点)(見学)

↓
壬生野IC経由

天道遺跡・塚脇水源地(説明・見学)

↓
万福寺・綾の神講(説明・自由見学)

↓
川西コミュニティ広場(川西区公民館駐車場)(集合・解散)

川西コミュニティ広場に集合

晴天に恵まれ12月としては、稀に暖かいウォーキング日和になりました。

今回のウォーキングには、初めて子どもの参加があり、総勢32名で実施しました。川西コミュニティ広場(川西区公民館駐車場)で受付と開会行事を済ませた後、最初の見学地、福泉寺に移動しました。



1 福泉寺(公民館併設)(説明・見学)

開会行事を終えて、川西公民館前で集合写真を撮った後、最初の見学地である福泉寺では、本堂にあがって梅田聖宏和尚から福泉寺にまつわる仏様と掛け軸、また川西区には以前小場ごとにお寺があったなどの話を聞きました。(塚脇地内にあった万福寺もその一つとのことでした。)



2 農業構造改善事業(説明)

農業構造改善事業については、竣工記念碑に川西土地改良区が事業主体となる、第1次、第2次農業構造改善事業の工事期間や施工面積、改善内容などが刻まれており川西区の関係者から説明を受けました。



3 たけべさん(説明)

県道脇に、江戸中期(1726年)に疫病退散のために建てられたという小さな社があります。管理している中林さんから経緯を説明していただきました。社の正式名称はわかりませんが、「たけべさん」「たくいさん」と呼ばれているようです。



4 居附新田にある松尾講(説明・見学)

松尾講は、京都市の松尾大社にゆかりがあり、松尾大社からいただいたお札をお祭りしています。毎年、12月中旬に春日神社の神職による祭典が執り行われています。また、お社は講員によって大切に祀られています。



5 滝川浄水場、三ツ池、庚申講(説明・見学)

道中の「たけべさん」、「松尾講」の其々のお社を見学した後、第二のポイントである滝川浄水場、三ツ池を見学しました。滝川浄水場の内部は見学できないため、外観を見ながら施設の構造や伊賀市、いがまち、壬生野地域の水道水の現状と今後の見通しなどの説明を聞きました。また、滝川浄水場に隣接する三ツ池については、二つの改修碑を見ながら水の大切さを学習しました。(塚脇水源地は後で見学します。)さらに、滝川浄水場と三ツ池の間にある庚申講(庚申さん)を見学しました。



6 川西青葉台地内にある三等三角点(見学)

川西青葉台地内に国土地理院の三等三角点があります。この三角点は、道路の建設や都市の開発等の公共事業に必要な位置の基準として利用されています。今回のフィールドワークでは、名阪国道の建設、農業構造改善や新興住宅地の造成などの足跡が見られ、その当時に活用されたのではないかと思います。



7 塚脇水源地(見学)

川西青葉台から名阪国道のボックスを潜り抜け、西之澤地内にある天道遺跡(現在は遺跡を埋め立て水田になっています。)を経由して、滝川浄水場の塚脇水源地を見学しました。川西区長から天道遺跡及び塚脇水源地に関する説明を聴き、水源地を見学しました。



8 万福寺跡の集会所(見学)

万福寺は福泉寺の梅田和尚から説明ありましたように、以前は川西塚脇地区のお寺でありました。現在は、地域住民の集会の場としても利用されています。



9 綾之神講(説明・見学)

綾之神講は川西塚脇地内にある講で、塚脇地区を中心に川西区の方で組織され、毎年、数人が当番となり管理しています。また、旧暦の10月18日に毎年、春日神社の神職による祭典が執り行われています。



計画していた、川西区・川西青葉台区のフィールドワークは、約5キロを2時間40分かけて無事に終了しました。